

学校だより

『認めて、褒めて、励まして、信じて、待って、見届ける』



今年度の学校生活をまとめる時期です

2月に入り、本年度の学校生活もまとめの時期になりました。校舎内を巡回すると各教室からは、これまでの学習を確認するテストや授業参観等に向けてグループ活動をする様子が見られました。こうした取組を通して子供たちには、これまでの学習や生活を自分なりに振り返り、できるようになった達成感等を味わってほしいと思います。授業参観では、お家の方や地域の皆様に子供たちの成長をご覧いただくとともに、今年度の本校教育活動を評価していただけたらと思います。

鼓笛練習



1/21(火)に引継ぎ式に向けての第1回鼓笛合同練習が行われました。2/5(水)に行われる鼓笛隊引き継ぎ式に向けて、3年生から6年生の合同で練習しました。今回は主に、6年生が中心となって下学年の同じ楽器を担当する児童を教えました。どの児童も3曲演奏ができるようになるために、真剣な表情で6年生の話を聞きながら楽器を演奏していました。

給食週間 1/20~24



1/20(月)から給食週間でした。この1週間の給食は、福岡県の「だぶ」・青森県の「けの汁」・愛知県の「きしめん」・北海道の「帯広豚丼」などの郷土料理が登場しました。あまり食べたことのないメニューに子供たちは毎日わくわくしていました。日本の食文化の豊かさを感じ、幸せを感じるひとときとなりました。24日には、3人の調理員さんに御礼のお手紙を渡し、感謝の気持ちを伝えました。

ふれあい班長縄練習 (第2回)



1/29(水)昼休みに2回目のふれあい班長縄跳び練習が行われました。1回目の時は、うまく跳べない児童も多く、連続で跳ぶのが難しい様子でしたが、今回の練習では連続回数も格段に増え、100回を超える班も多く見られました。縄を跳ぶタイミングがつかめない児童に、高学年の児童が後ろからタイミングを見計らって背中を押してあげる光景が随所に見られました。班全員で声を掛け合って、一生懸命取り組むことができました。

民生委員・児童委員との懇談会

2月3日(火)に民生委員、児童委員との懇談会がありました。本地区の民生委員は、野澤文子様(谷地賀上・下)、小室佳子様(本吉田北<別当河原・第1班除く>・南)、大塚森雄様(塚越、磯部、本吉田北)、大垣孝子様(川島、三王山、本吉田北1班)、海老原充雄様(上吉田、鯉沼)の5名の方々です。また、下野市民生委員協議会長の渡邊欣育様、主任児童委員の中田敦子様にも参加いただき、地域の様子や子供たちの普段の姿等をお聞きしました。懇談会では「大きな声であいさつができる児童が多い」「大きな荷物を持って登校する姿に感動した」といったお褒めの言葉や「手押し信号を使って横断するときは、全員そろってから押しボタンを押してほしい」といった子供たちに気をつけてほしい話も

出ました。また、「スピードを出して走っている車がいるので危ない」といった話がありましたので、警察署に相談するということになりました。自分の身は自分で守るという指導も併せて行っていきたいと思います。

鼓笛隊引継ぎ式



2月5日（水）に鼓笛隊引継ぎ式を行いました。57年間にわたる鼓笛隊の伝統を引き継ぐ式として、年度末の授業参観の前に実施し、たくさんの保護者の方々にも見ていただいています。子供たちは、この伝統を「伝えよう」「引き継ごう」とする熱い気持ちで式に臨みました。式では、はじめに旧鼓笛隊の4、5、6年生が演奏しながら入場した後、指揮者から指揮杖の返還とお礼の言葉がありました。その後、新しい指揮者へ指揮杖が渡され、各楽器の引継ぎも行われました。そして、6年生が見守る中、新しく結成された鼓笛隊による演奏が行われました。この日を迎えるに当たり、業間や昼休みの時間に6年生から手ほどきを受けたり、自主練習に励んだりするなど、各自一生懸命練習をしてきました。その成果が発揮され、初披露とは思えないほどの力強い演奏で、3曲を無事演奏することができました。終了後にはたくさんの温かい拍手をいただきました。次の演奏の機会は、春の運動会です。今後の新鼓笛隊の活躍を期待しています。

保護者授業参観



今年度を締めくくると授業参観は、1、2年生が生活科、3～6年生が総合的な学習の時間で行いました。各学年の題材名は、1年生「入学してからできるようになったこと」、2年生「あしたへのジャンプ」、3年生「下野博士になろう」、4年生「みんながしあわせになるまちをつくろう」、5年生「みんなが住みよいまちをつくろう（環境）」、6年生「ふるさとの歴史と文化を知り、将来の自分を見つめよう」です。

1、2年生は、自分のできるようになったことなどを中心に発表しました。3年生は模造紙に学習内容をまとめ、4年生以上はパワーポイントを使って説明しました。学校運営協議委員さんからも「一人一人が目を輝かせながら発表していました」「聞いている人を巻き込んで、質問形式で発表するところがよかった」といったお褒めの言葉をいただきました。

(写真上段1・2年生、中段3・4年生、下段5・6年生)